

リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立西新井小学校

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」

・各教科の学びを深めたり、外部人材を活用したりしている。

NHK for Schoolの番組やクリップ等を各教科、教科外の活動で活用

- ・理科の課題提示、学習後のまとめに活用。
- ・安全指導「生活安全」「交通安全」「災害安全」の際に活用。

・「魚沼産コシヒカリ給食」全校実施

友好自治体である新潟県南魚沼市で足立区の中学生が収穫したお米を給食で提供。

魚沼市の紹介や、米の育て方がまとめた動画を観聴させた。

食べ物や生産者への感謝の気持ちを育むことができた。

【みんなで知ろう！魚沼産コシヒカリ】https://www.youtube.com/watch?v=GboJ6JLxk_U

ゲストティーチャーによる専門的な内容の伝達、他校の児童との交流

・「セーフティ教室」低学年、高学年でそれぞれ実施

クラス数が多いため、感染症対策も含めて、各教室で実施した。

講師の数も少なく済み、一度に効率的に行うことができた。



・4年外国語活動「I like Mondays. すきな曜日は何かな？」～Meetでの他校との交流

大田区立道塚小学校の4年児童とグループごとに1対1で好きな曜日を尋ね合った。

初めて出会う相手ということで、適度な緊張感のもと、正しく伝えようとする意欲を高められた。

・3年社会科「店ではたらく人びとの仕事」～ジグソー法での発表とゲストティーチャー動画の活用

スーパー見学の際、班ごとに異なる観点で工夫を見つけ、スライドにまとめて発表した。

スーパーマーケットで働いている人のインタビュー動画を見せて、お店の人の思いや願いを理解させることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立西新井小学校

【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

・ノート代わりの思考ツールとして活用したり、意見を共有したり、共同編集したりしている。

・1年生活科「かぞくにここに大きくせん」～家庭で撮影した動画の紹介
 家庭でのお手伝いの様子を撮影し、Googleドライブから再生して紹介し合った。
 友達の動画を見ることで、自分もやってみたいという思いをもたせることができた。
 保護者の関心を向上させ学習効果を高めることにつながった。

- ・児童へのアンケートはGoogleフォームで集計。
- ・保護者へのアンケートは保護者向け情報発信ツールで実施。



・5年体育科「選んでトライ！ビューティフルボックス！」～跳び箱運動におけるICTの活用
 デジタルホワイトボードソフトで手本動画や自分の試技動画を共有し、Googleスライドで作成した
 学習カードを用いた。授業前など、授業時間以外でも確認したり、アドバイスし合ったりすることが
 できた。タイムシフトカメラを大型テレビにつなげ、自分の試技をすぐに確認することができた。



授業形態の見直しへ！！6年生社会科を例に・・・

- 導入： 学習課題を提示し、その解決のためにどうしたらよいか確認する。
 展開： 児童は自分が選んだ方法で学習を行い、ジャムボードにまとめる。
 スプレッドシートで児童が進捗状況を報告し、学習進度を把握できるようにする。
 まとめ： 児童同士、調べて分かったことや考えを交流する。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立西新井小学校

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

・諸連絡をGoogle Classroomから配信している。

・全学級、委員会、クラブ活動でGoogle Classroomを利用
家庭でも課題に取り組むことができる。

例：算数科での単位探し、理科での季節探し、外国語科でのアルファベット探し
作文の構成メモや下書きなど、欠席児童とのやり取りもできる。

・理科で、児童が見つけた季節の植物や動物をスライドにまとめ、
Google Meetをつないで画面共有しながら紹介し合った。



・AIドリル 足立区で採用しているアダプティブラーニング教材。
毎週火曜日を国語、金曜日を算数に決め、朝学習で利用。授業や家庭学習でも。
教員が作成するワークブックを解かせるだけでなく、児童が問題を選択して異学年の内容を解くこともできる。

・個々の取り組み状況に応じて、個別に対応。
・全体の正答率が低い問題を解説し、ワークブックとして作成し、再出題。



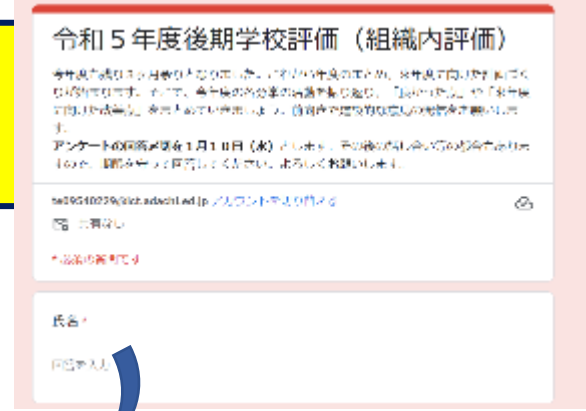
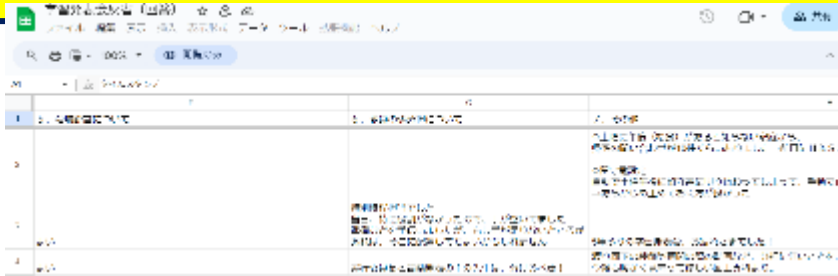
リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立西新井小学校

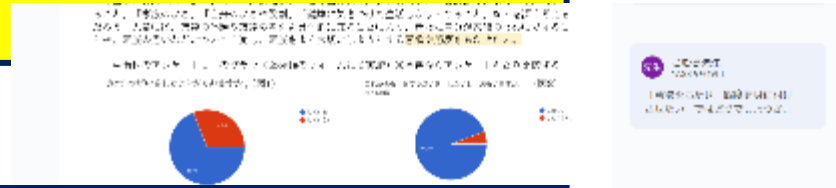
【取組内容④】「対話的・協働的な校務、小中合同研修会での活用」

・共同編集機能を利用し、業務の効率化を図っている。

・行事ごとの反省や学校評価 ～Googleフォーム、スプレッドシートの活用
話し合いながら、同時に各自打ち込むができる。
ALTや講師の予定もスプレッドシートで共有し、変更にもすぐに対応できる。



・指導案検討 ～Googleドキュメントの共同編集機能、コメント機能の活用
誤字脱字を含む様々な指摘をコメントとして入力することで全員が確認できる。
一堂に会して指導案を検討する時間を大幅に短縮できる。



・分科会協議指導案検討 ～Googleジャムボードの活用
授業を参観した教員が各自付箋に書き込み、協議会での話し合いに生かす。
KJ法でまとめ、全体会において紹介し合う。

・共同編集でき、作業内容も即時反映するため、他の分科会の協議の様子も見る事ができる。

